

第 3 次小郡市男女共同参画計画 令和 6 年度 重点施策 実施状況報告書
--

施策の方向性 1 政策・方針決定過程への女性の参画推進

◎政策・方針決定の場への女性の参画推進

- ・あらゆる分野に女性の意見を反映させるため、市民活動団体と連携して審議会等委員への女性委員のさらなる登用を進める **(総務課)**
- ・「第 2 期小郡市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」に基づき、市職員のキャリアアップや女性の管理職を育成する取り組みや働き方改革を進める **(人事課)**
- ・農業分野における男女の平等な参画を推進するため、農業委員への女性の積極的登用を図る **(農業委員会)**

○女性リーダーの育成

- ・国や県が実施する女性向けのキャリアアップに関する研修について、周知や参加促進を行い、男女共同参画の視点を持ったリーダーの育成を推進する **(総務課)**
- ・おごおり女性協議会をはじめ男女共同参画社会の実現に向けて活動する団体への支援を行い、地域のリーダーとしての育成を図る **(総務課)**

▼実施状況報告

- (1) 改選を控えた審議会等の担当部署への個別働きかけや審議会委員になり得る女性の候補者名簿の活用等により前年度比 0.8 ポイント上昇
(R7. 4. 1 審議会等における女性登用率 37. 4%)
- (2) 人事異動により女性の管理職への登用をすすめ、前年度比 2. 8 ポイント上昇
(R7. 4. 1 市職員の管理職に占める女性の割合 28. 3%)
- (3) 農業委員への女性登用について、校区区長会等への依頼や現役女性委員による声掛け活動により、女性委員は改選前より 1 名増 (R7. 4. 1 実績値 20. 8%)
- (4) 福岡県主催の研修会やイベントについて、ホームページへの掲載やチラシの公共施設への配架により周知を図った
- (5) おごおり女性協議会の事業に対し補助金を交付した。協議会主催の「おごおりフォーラム」(講演会) においては、企画や当日の運営など連携して取り組んだ

▼今後の取組み

政策方針決定の場への女性の参画推進については、女性比率が少しずつ上昇しているが、令和 1 5 年度までに目標値に達成するためには、声掛けなど個別の働きかけ以外に地域社会に向けて女性参画に関する啓発をより一層行う必要がある。また、女性自身の意識改革も重要であり、まずは市が率先し、県や外部機関が実施する研修へ女性職員を積極的に派遣していく。

女性リーダーの育成については、今後は若い世代への働きかけが必要だと思われる。令和 6 年度におごおり女性協議会と連携して開催した「おごおりフォーラム」では、

福岡県立三井高等学校の生徒に当日の運営に参加してもらった。今後も、若い世代に女性リーダーが活躍する行事等の企画・運営に携わってもらえる機会を作り、社会のあらゆる分野において性別に関わらずリーダーとして活躍できるという認識を広めていきたい。

施策の方向性 2 地域活動・地域防災分野における男女共同参画の推進

◎地域における男女共同参画の推進

- ・ 校区コミュニティセンターにおいて男女共同参画に関する講座やセミナーを開催することで、学んだ知識をもとに市民一人ひとりが考え、実際に行動することができるような男女共同参画意識の醸成を図る **(コミュニティ推進課)**
- ・ 区長や自治公民館長、民生委員・児童委員など地域のリーダー的存在となる市民に対して、男女共同参画に関する研修会等への参加促進や啓発活動を行う **(コミュニティ推進課、福祉課、総務課)**

○防災分野における男女共同参画の推進

- ・ 防災会議委員における女性の登用に努め、防災リーダー認定講習会においても、女性の受講を促進し、地域における防災活動に主体的に取り組む女性の育成を図る **(防災安全課)**
- ・ 地域における講習会や訓練の企画・立案の場に、防災リーダーを中心として、女性の積極的な参加を促す **(防災安全課)**

▼実施状況報告

- (1) コミュニティセンターにおいて、女性向けセミナーを開催した。参加者が様々な分野で学んだことを活かせるような知識・体験講座を実施した。「女性のためのちょこっと頑張る筋トレ講座」(回数：22回、参加者数：延べ350名)
- (2) 地域における男女共同参画推進を目的に、現在活躍中の女性区長のインタビュー記事を広報誌の中の「Gender Equality」に掲載した
- (3) おごおり女性協議会と連携して開催したおごおりフォーラムにおいて、区長や自治公民館長、民生委員・児童委員等の参加を促進した
- (4) 協働のまちづくり協議会に対し、「役員の女性登用」及び「男女ともにそれぞれの関心や特性を活かして参画できるまちづくり」を呼びかけた
- (5) 自治公民館長については、福岡県公民館大会及び実践交流会等を通じ、地域における女性の活躍を含めた地域活性化について学習した
- (6) ・ 防災リーダー認定講習会受講者 女性3名 (全体25名)
 - ・ 防災リーダーフォローアップ研修会参加者 女性4名 (全体25名)
 - ・ 防災リーダー数 (令和7年4月1日時点) 女性34名 (全体291名)
- (7) 消防団広報誌において女性団員募集の周知を行う際に現役女性団員が記事編集に携わったり、市内各所で開催した救命講習会に女性消防団員が普及員として参加したりし、防災活動への女性参画を推進した

▼今後の取組み

地域活動を持続的に進め活性化していくためには、地域の多様な人材が活動に参加することが重要である。しかし、令和4年度の団体ヒアリング調査では、自治会における女性区長の割合はわずか2.0%、副区長15.0%、区議員・役員20.8%である。このような状況を改善するためには、男女共同参画に関する啓発と併せて、「会議や行事に参加しやすい日時に調整する」「性別に関係なく意見を言える雰囲気を作る」「役員の仕事を見直し、負担軽減を図る」等の環境改善を行うことも大変有効である。Gender Equalityに掲載した女性区長の自治会では、環境改善を実践し、役員の半数が女性になっている。今後は、そのような好事例を研修会等で紹介しながら、他自治会にも広めていきたい。

また、地域活動や防災活動への女性参画においては、男性の家事・育児・介護への参画も必要不可欠な要素である。市民にとって身近なコミュニティセンターが主催する講座の中で、男性の家事・育児・介護への参画を促すような内容など、男女共同参画をテーマとする講座を今後も企画・実施していく。